

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 4 月 1 日

事務事業名		結婚相談事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助		事務事業No. 050102000810	
総合計画の施策名		0501 農業の振興				単独		050101	
政策体系	政策名	05 魅力と活力のある産業社会づくり				主要事業		所属課	
	施策名	01 農業の振興				市長マニフェスト		農林課	
	基本事業名	02 担い手の育成・支援				未来PJ事業		グループ 農政G	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	01	04	05	00	結婚相談事業		
法令根拠						単年度繰返し (年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 市から委嘱された相談員が農業後継者の結婚支援を行う。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 相談員から申込書を受け付けて、各相談員に周知。 相談員同士の情報交換会を開催。 企画課、いばらきサポートセンター及びJA北つくばが開催する、ふれあいパーティを相談員へ情報提供。 新たに1名を、結婚相談員に委嘱。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
相談員から申込書を受け付けて、各相談員に周知。相談員同士の情報交換会を開催。結婚相談員の委嘱。	会議・交流会・研修会の開催	回	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00
	ふれあいパーティ	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
結婚を希望する農業後継者。	相談者数	人	29.00	31.00	30.00	30.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
未婚の男女の成婚を支援する。	成婚支援回数	組	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
	婚姻成立件数	組	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	内訳	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
量	費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	81	1	2	0	0	0
	事業費計(A)	千円	81	1	2	0	0	0	
量	費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	/
		述べ業務時間	時間	104.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		人件費計(B)	千円	302	290	290	290	290	
トータルコスト(A)+(B)		千円	383	291	292	290	290		

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)		
	11 需用費			11 需用費		
	1			2		
	合計		1	合計		2

(4) 当該年度の実施内容

28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業		

事務事業名	結婚相談事業	事務事業No.	50102000810	所属課	農林課
-------	--------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 農業後継者の晩婚化を防ぐため、平成20年度から農業後継者結婚相談員を委嘱。相談員を通しての成婚件数は少ないのが現状である。結婚希望者は、相談員を通してではなく、自主的にふれあいパーティに参加している傾向にある。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 農業後継者の晩婚化を防ぐためには、相談員を増員してはどうか。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 結婚問題に取り組むことは、市の施策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 晩婚化、少子化は大きな問題となっているので、行政が取り組む必要があるため妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 相談員は、それぞれが未婚の解消に努めているため向上の余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 相談員を必要とする方もいるため、影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 企画課及び県のサポートセンターと連携しているが、農業後継者の結婚相談事業なので統廃合はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限で対応している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 農業後継者の対象事業となっても、相談員は限定せずに活動している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	相談員は、個々に活動しているが、成婚に結びつかないケースが多く、実績がない状況が続いている。結婚希望者は、市に申し込む事に抵抗がある場合も多く、県のサポートセンターへの入会も動めている。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果 ②																						
コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>